

## 事業原簿

作成:2023年9月

上位施策等の名称	国際研究開発事業	
事業名称	NEDO プロジェクト名 国際研究開発／コファンド事業 METI 予算要求名称 国際研究開発事業	PJコード:P14005
担当推進部及びMETI担当課	NEDO 国際部 METI 産業技術環境局総務課国際室	
事業概要	<p>本事業では、我が国の高い技術力の海外市場への展開の推進、経済成長促進、及び産業競争力強化の早期実現を図るため、最先端の技術を持つ内外の企業による国際共同研究プロジェクト等に対し、機構が海外の技術開発マネジメント機関等とともに「コファンド形式」等により資金支援を行う取組を積極的に推進する。</p> <p>具体的には、欧米先進国を中心とする海外の技術開発支援機関等とともに、コファンド形式等により、我が国企業技術を現地の実情に合わせ、相手国企業等との協働による研究開発を行い、その有効性を証明することを目的とする。</p>	
意義・アウトカム(社会実装)達成までの道筋	<p>(1)本事業の位置づけ・意義</p> <p>『「未来投資戦略2017」』(平成29年6月閣議決定)及び『「科学技術イノベーション総合戦略」』(平成29年6月閣議決定)などの成長戦略に基づき、新興国を中心として急速に拡大するグローバル・マーケット獲得に向け、我が国の優れた技術の国際展開を推進することが急務である。特に、高い技術力を有しながら、海外への進出に踏み切れない我が国企業を後押しし、新たな市場獲得を目指した海外展開支援体制の強化が必要とされている。</p> <p>また、機構の第3期中長期目標において、我が国企業の国際展開や海外企業も含めたオープンイノベーションの進展を支援し、これに対応したグローバルな技術開発マネジメントに係る事業の一層の推進のため、最先端の技術を持つ内外の企業による国際共同研究プロジェクト等に対し、機構が海外の技術開発マネジメント機関等とともに「コファンド形式」等により資金支援を行う取組を積極的に推進するという目標を掲げている。</p> <p>さらに、機構の第4期中長期目標においては、我が国企業と優れた技術を有する外国企業の国際的な連携を促進し、海外市場展開を推進するため、国内外の企業による共同研究に対し、NEDOが外国の技術開発マネジメント機関とともに資金支援を行うコファンド事業を積極的に推進するという目標を掲げている。</p> <p>(2)アウトカム達成までの道筋</p> <p>我が国企業を後押しし、新たな市場獲得を目指した海外展開支援体制の強化という政策目標に基づき、予算額に応じ、2014～2020年度にコファンド事業の新規公募・採択を行う。海外機関との連携を図りつつ、優れた技術を持ち、国際共同研究を志向する、日本企業を発掘・支援し、グローバルな技術開発マネジメントに係る企業の取り組みの一層の推進につなげる。各プロジェクト終了後には、各成果をもとにした、事業者の継続した国際連携により、革新的成果が期待できる。製品の性能は世界一なのに市場で負けるという事態を避けるべく、相手国企業の販路を使った販売や、その採用実績を元に国内外におけるさらなる販売先の拡大、そして相手国企業と協力した国際コンソーシアムへの参</p>	

	<p>画等により、アウトカム目標である「新規市場の獲得」「国内経済成長への寄与」「我が国の産業競争力を強化」を達成する。</p> <p>(3) 知的財産・標準化戦略 特に、助成事業に関しては、事業者の意向を尊重する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ INPIT: 工業所有権情報・研修館と連携し、国際共同研究開発・支援制度活用セミナー等を事業者を紹介するなど、知的財産・標準化に関して事業者の理解を深めるための活動を実施した。</li> <li>・ 公募提案時には、知的財産権等の取扱いについて規定した共同研究契約ドラフトの提出を求め、内容を確認した。</li> <li>・ 交付決定の条件として前項契約の締結を確認した。</li> <li>・ テーマ別事後評価委員会での審査項目とし、具体的な知的財産確保の取組みについて確認し、適切なオープン・クローズ戦略かどうか等の評価を行った。</li> </ul>
<p>目標及び達成状況</p>	<p>(1) アウトカム目標及び達成見込み</p> <p>① アウトカム目標 我が国の優れた技術を使って、海外市場に適した技術を開発・検証し、官民一体となって企業の国際展開を推進することにより、我が国産業競争力を強化し、先進国のみならず急速に拡大している新興国を含む新規市場の獲得を狙う。もって、我が国国内経済成長に寄与する。</p> <p>② 達成見込み 既に利益をあげて収益納付が有る優良なプロジェクトの代表事例もあり、各プロジェクトの技術成熟度レベルも向上している。引き続き、実用化・事業化に向けた取り組みが進展していくことにより、アウトカム目標の達成が見込まれる。</p> <p>(2) アウトプット目標及び達成状況</p> <p>① アウトプット目標 我が国企業の国際展開や海外企業も含めたオープンイノベーションの進展を支援し、これに対応したグローバルな技術開発マネジメントに係る事業の一層の推進のため、最先端の技術を持つ内外の企業による国際共同研究プロジェクト等に対し、機構が海外の技術開発マネジメント機関等とともに「コファンド形式」等により資金支援を行う取組を通じた研究開発を積極的に推進する。</p> <p>* 参考 定量的なアウトプット目標（行政事業レビューシート） 平成 32 令和 4 年度までに我が国企業と海外企業との協力により 20 件の技術を創出する。</p> <p>② 達成状況 テーマ別事後評価において、研究開発成果の評価項目について、評価 C（概ね妥当）以上の評価結果であったものが、27 件であった。</p>

<p>マネジメント</p>	<p>(1)実施体制          本事業は、NEDOと相手国機関等との間で調整・協議の上実施することとし、双方の企業等をそれぞれ支援することとする。なお相手国機関等については実施方針に記載する。NEDOは、原則として日本に研究開発拠点を有する企業等(単独、複数を問わない)から公募により実施者を選定する。</p> <p>(2)受益者負担の考え方</p> <p>事業期間:平成 2014 年度～平成 2022 年度          &lt;参考&gt;          平成2014年度～2016年度:国際研究開発・実証プロジェクト／コファンド事業          平成2017年度～2022年度:国際研究開発／コファンド事業</p> <p>契約等種別:委託、助成・補助(助成・補助率 1/2、2/3)          勘定区分:需給勘定、一般勘定 (2018 年度以降一般勘定のみ)</p> <p>* 予算額については各年度の実施方針を参照</p> <p>各年度執行額</p> <p style="text-align: right;">[単位:百万円]</p> <table border="1" data-bbox="370 949 1334 1155"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015 年度</th> <th>2016 年度</th> <th>2017 年度</th> <th>2018 年度</th> <th>2019 年度</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執行額</td> <td>257</td> <td>423</td> <td>425</td> <td>153</td> <td>208</td> <td>133</td> <td>266</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)研究開発計画          進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全件、進捗確認のための会議を定期的を実施。必要に応じ研究現場も訪問し状況を直接確認。</li> <li>・ 相手国側の遅れ等がある場合には NEDO から相手 国ファンディング機関へ働きかけを実施。</li> <li>・ 社会情勢変化への対応としては、コロナ禍の調達 遅れ等による事業計画変更を相手国と調整した。</li> <li>・ 交付規程に基づき毎年度末に報告書を受理。</li> </ul>		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	執行額	257	423	425	153	208	133	266	126
	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度											
執行額	257	423	425	153	208	133	266	126											
<p>評価の実績・          予定</p>	<p>中間評価 2017 年度          終了時評価 2023 年度</p>																		